

安全性を追求したフライングステージならではの凄技！

フライングステージ 斜め組みについて

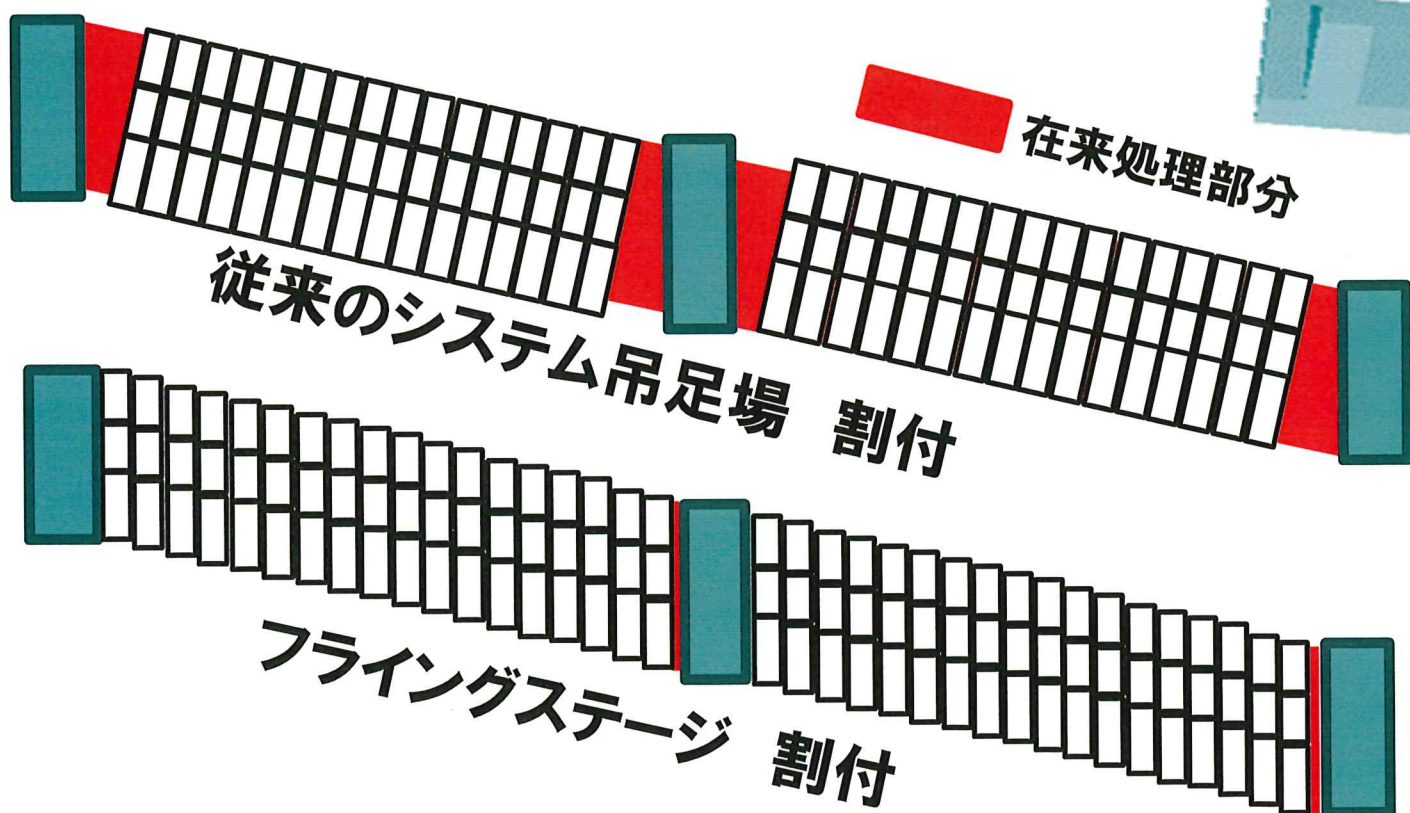
橋脚に対し、桁が斜めに配置されている場合、従来のシステム吊足場では橋台との取り合い部分の在来処理が必要になります。

フライングステージは、次のユニットを横にずらしながら取り付けることができる為、斜めに組むことが可能。危険作業を余儀なくされていた三角形の在来部分を大きく省くことができます。

フライングステージの概略は、取扱説明書、リーフレットをご覧ください



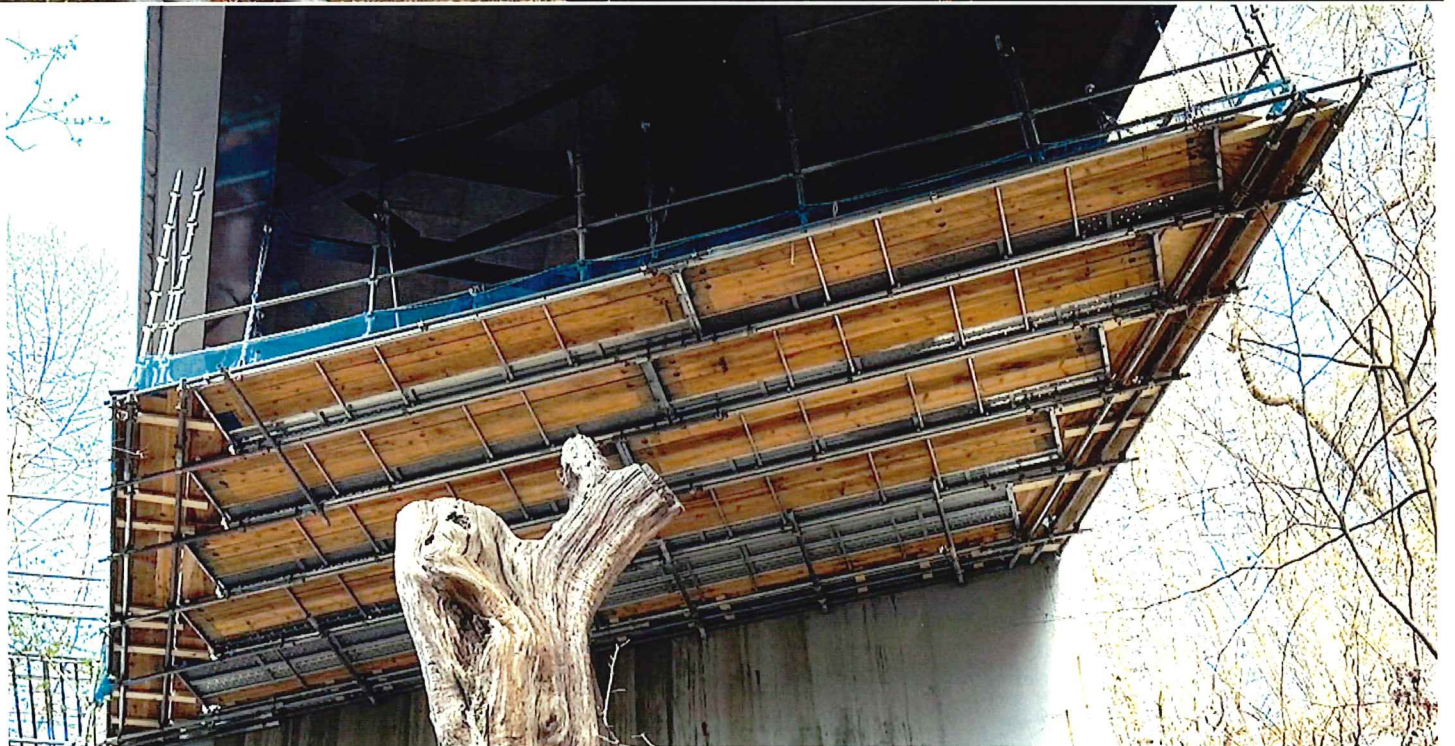
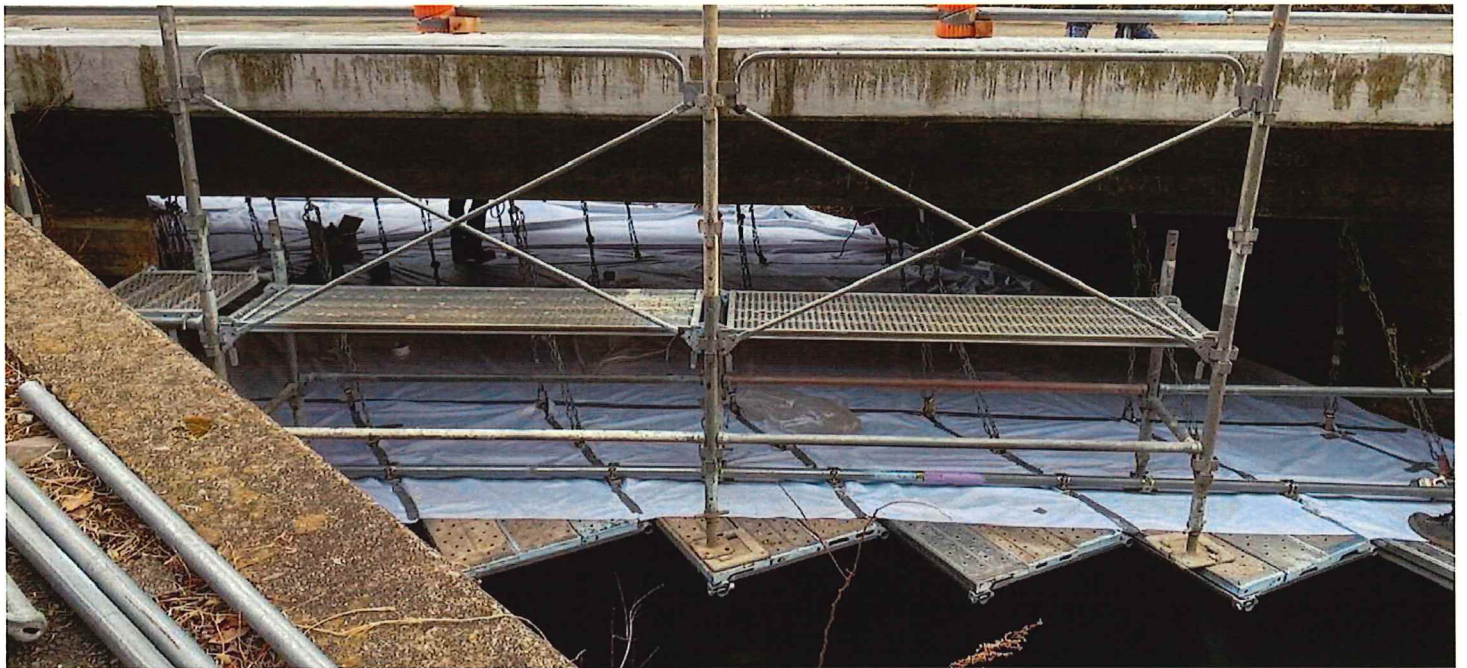
躯体イメージ



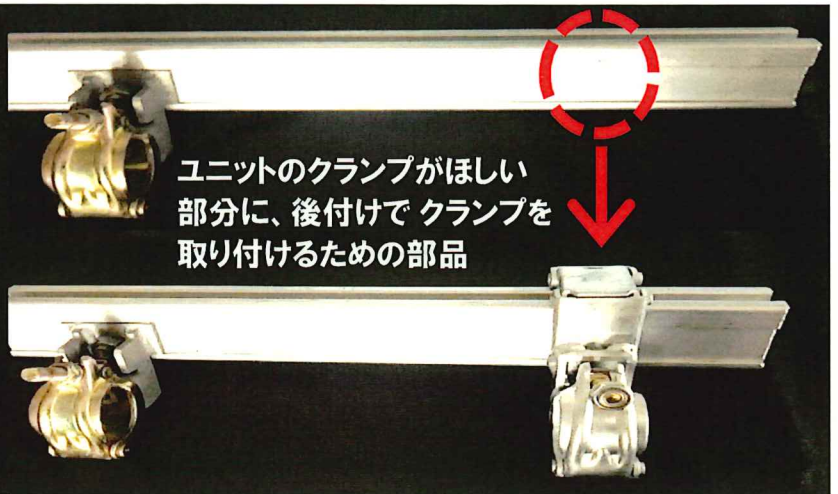
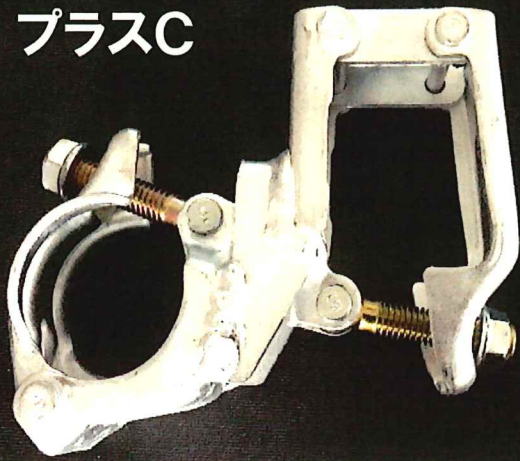
株式会社シンニツタン

本社 044-200-7831 大阪営業所 06-6857-3380

施工例



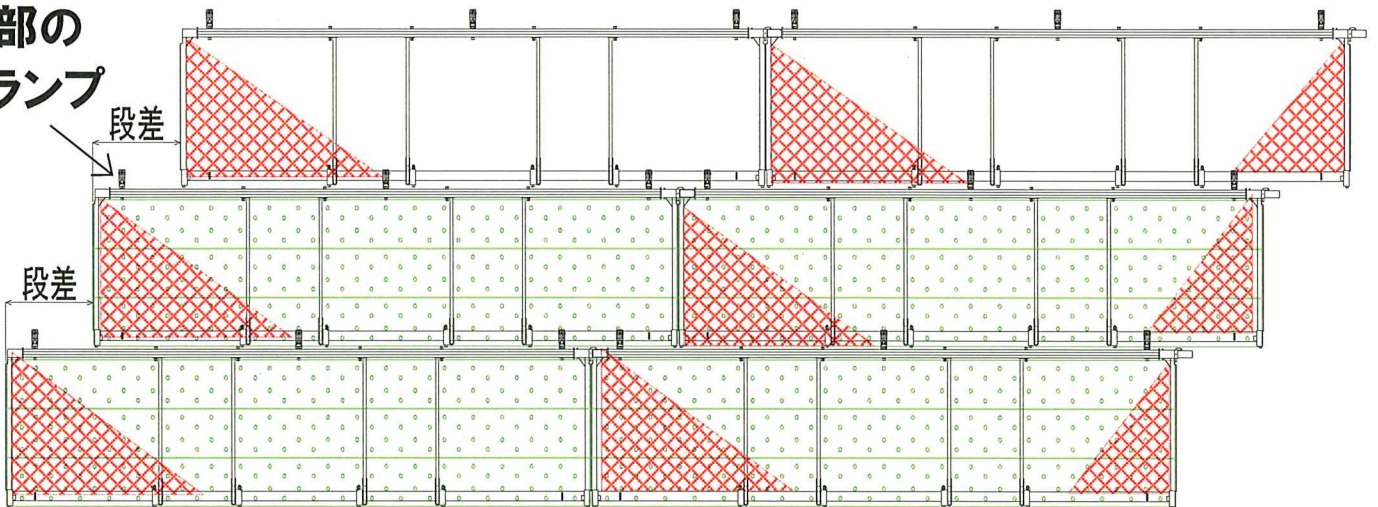
プラスC



ユニットのクランプがほしい部分に、後付けてクランプを取り付けるための部品

段差が大きくなりユニットの端部がクランプでつかめない為、その箇所が片持ちになり、所定の強度を発揮できない事がある。

端部のクランプ

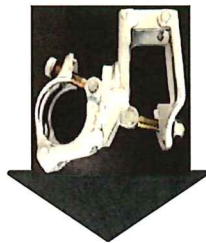


段差

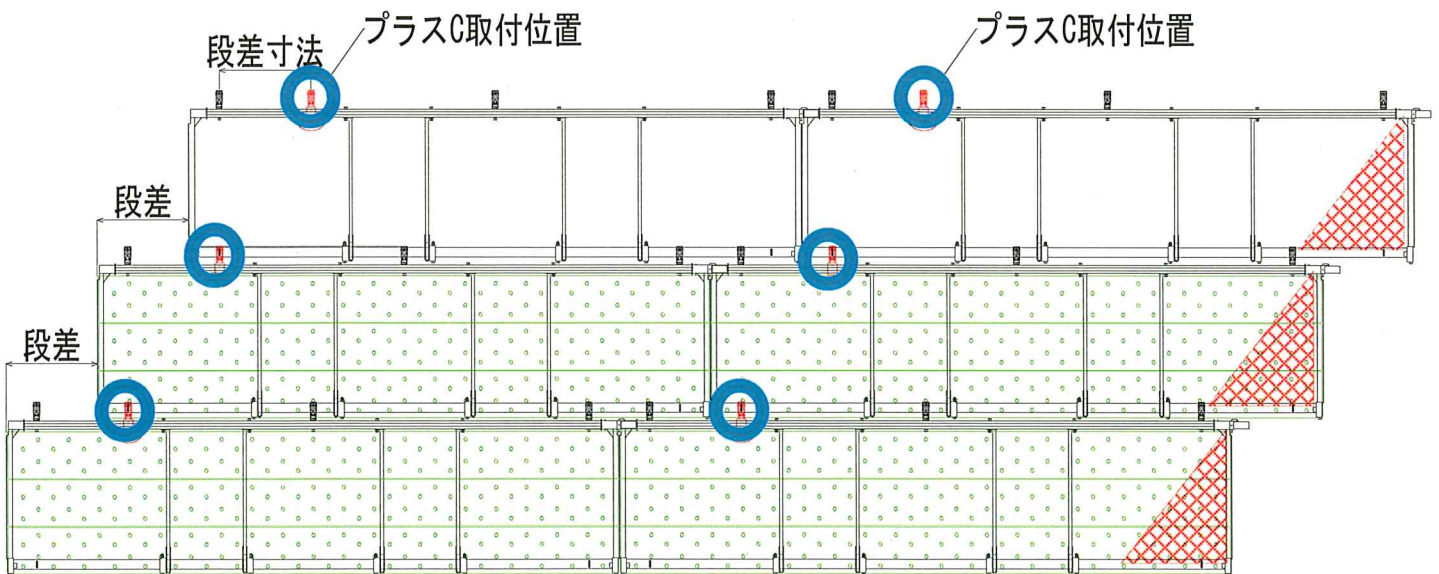
段差

片持ち箇所（積載荷重要件等）

プラスC取付



プラスCを取付けることによって、中央部の片持ち要件等箇所は解消する。



段差寸法

プラスC取付位置

プラスC取付位置

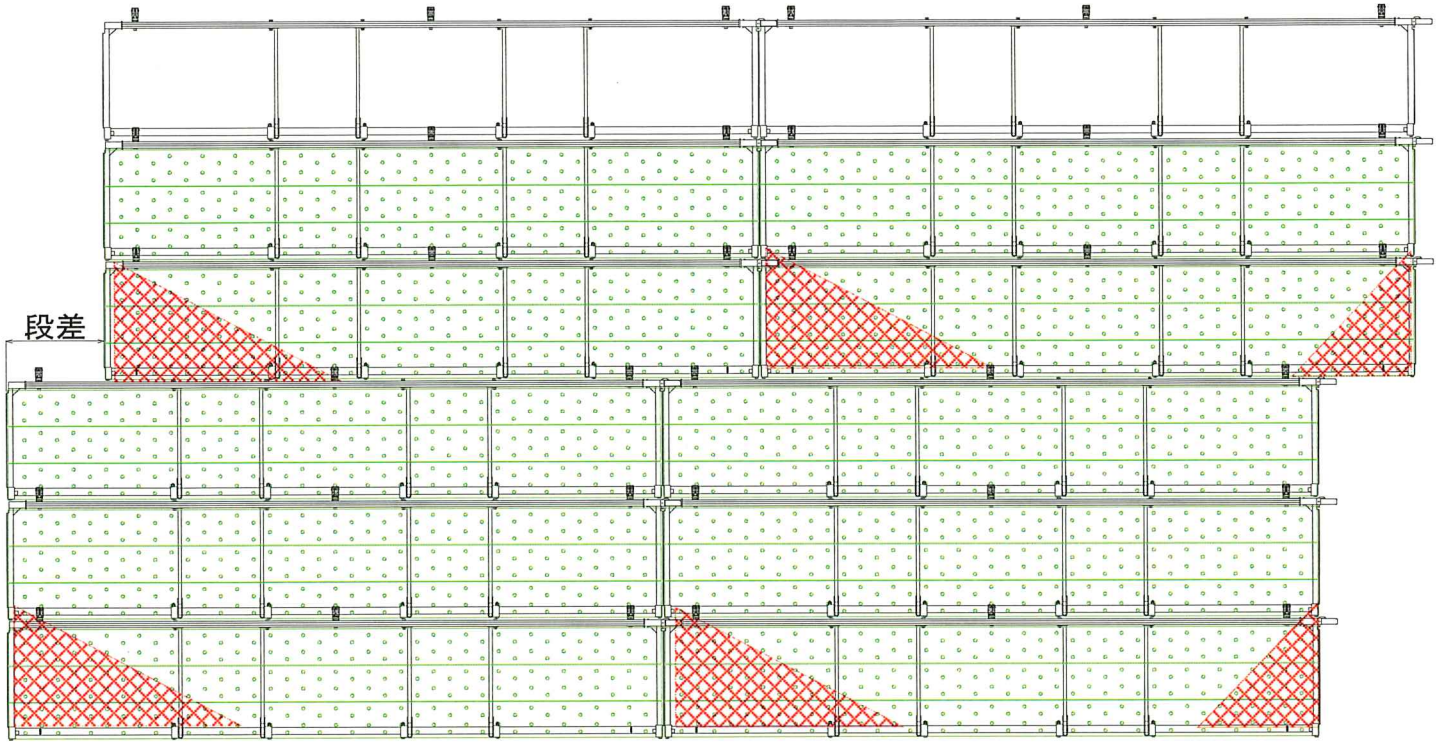
段差

段差

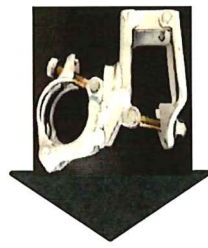
片持ち箇所（積載荷重要件等）

端部に若干の片持ち箇所が残るので、この部分の積載荷重は個別検討を要する。

直線と段差を組み合わせる場合

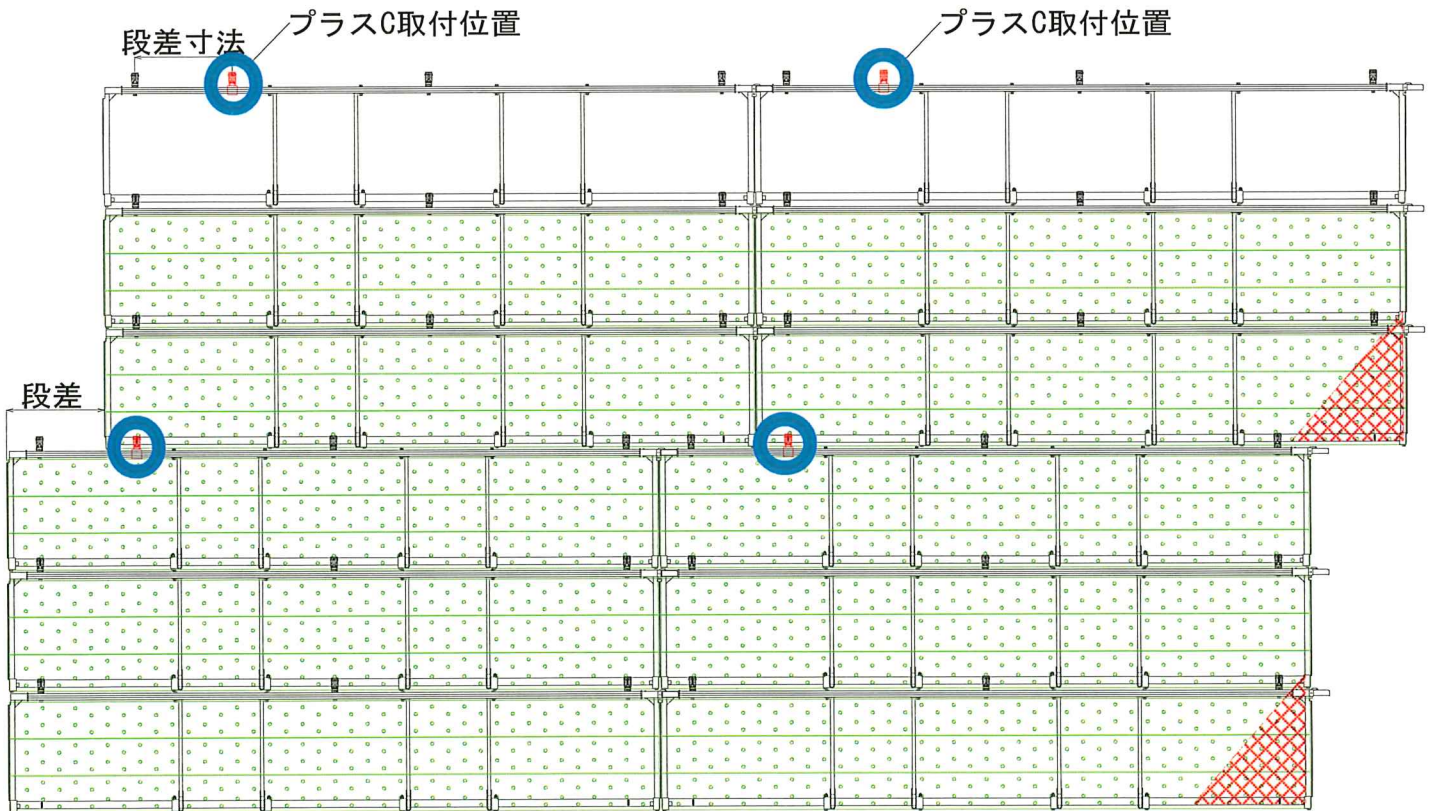



プラスC取付



 片持ち箇所（積載荷重要件等）

プラスCを取付けることによって、中央部の片持ち要件等箇所は解消する。



 片持ち箇所（積載荷重要件等）

端部に若干の片持ち箇所が残るので、この部分の積載荷重は個別検討を要する。